

3. 「故郷の海を愛する会」の活動報告

②名古屋港で、自動化コンテナヤードと新造大型フェリー『いしかり』の見学

参加者の募集

(8月18日 実施)

募集の案内は①と②を同時に行いましたが、締め切りはそれぞれ別々にしました。案内の詳細に関しては①を参照ください。

2回目の活動もおかげさまで応募締め切り前に予定募集者数を超えるほどの人気となりました。

参加者

募集目標70名のところ、86名の応募がありました。前日に体調を崩し不参加の子供もいたので、最終的に83名の参加となりました。

小学生64名、中学生19名。男子56名、女子27名でした。

活動その①と比較すると女子の参加が少し増えたようです。

伊勢市22名、鳥羽市14名、志摩市10名、明和町1名、松阪市27名、新たに加えた玉城町4名、名古屋市1名（母親が鳥羽市）、米国サンタバーバラ4名（鳥羽市の交換留学生）でした。

活動その①と比較すると松阪市、志摩市の参加者が増えました。

主催者関係

「故郷の海を愛する会」の役員10名、鳥羽商船同窓生6名、一般ボランティア8名、合計24名が参加しました。

一般ボランティアは参加した小中学生の保護者並びにサンタバーバラ交換留学生引率者等です。

その他に鳥羽商船同窓生として、現地で案内役として飛島コンテナ埠頭の井上さん、飛島コンテナ埠頭に接岸中のコンテナ船を入港させたパイロットの大西さん、太平洋フェリーで案内案内役の岡田さん他数名の同窓生、更には同窓会中部支部支部長の宗接さん、加塚さんも現地で参加してくれました。

飛島コンテナ埠頭並びに太平洋フェリーのご協力を感謝します。

更に、鳥羽商船高専も集合場所の提供・副校長の挨拶等、協力して頂きました。

主催者側参加者のリストは次頁の通りです。

尚、本会の古川会長は体調不十分のため不参加となりました。

性別	所属		担当	班名	バス
男	主催者	会長代行	総括		2号車
男	主催者	副会長	記録		1号車
男	主催者	理事	副総括		1号車
男	主催者	理事	報道		1号車
男	主催者	理事	班担当	A	1号車
男	主催者	理事	班担当	B	1号車
男	主催者	理事	班担当	B	1号車
男	主催者	理事	班担当	B	1号車
男	主催者	相談役	班担当	C	1号車
男	主催者	理事	班担当	G	2号車
男	主催者	理事	班担当	J	2号車
男	主催者	理事	記録	E	2号車
男	ボランティア	商船同窓会	班担当	D	1号車
男	ボランティア	商船同窓会	班担当	D	1号車
男	ボランティア	商船同窓会	班担当	E	1号車
男	ボランティア	商船同窓会	班担当	H	2号車
男	ボランティア	商船同窓会	班担当	H	2号車
男	ボランティア	商船同窓会	班担当	D	1号車
男	ボランティア	商船同窓会	班担当	A	1号車
女	ボランティア	保護者	班担当	G	2号車
女	ボランティア	保護者	班担当	J	2号車
男	ボランティア	保護者	班担当	H	2号車
女	ボランティア	保護者	班担当	C	1号車
女	ボランティア	保護者	班担当	A	1号車
女	ボランティア	交換学生関連		J	2号車
男	事務局		受付	C	1号車
女	事務局		受付		

当日の活動記録

- 07：15 役員・ボランティアア集合、スケジュール・担当等の打合せ
- 07：45 受付け開始（鳥羽商船高専、正門をはいった広場にて）
- 08：15 集合。全員が遅刻なく集合しました。8班に分かれました。
「故郷の海を愛する会」の三井会長代行の挨拶と注意
鳥羽商船高専の伊藤副校長の挨拶。
その後、班別に2台のバスに分乗
- 08：45 出発
高速道路経由。途中安濃SAにてトイレ休憩
バス車内で、「にっぽん丸の船旅」「コンテナ」のビデオを観賞。
- 10：45 飛島コンテナヤードに到着 バスを下車。
スクジュールに沿い、バスの号車別に分かれ構内見学
・船の役割、名古屋港の貿易、コンテナ等の説明をビデオで受けました。
・屋上からコンテナの動きを説明してもらいました。
・操作室でコンテナ移動を遠隔操作しているところを見学しました。
・バスに乗り構内の説明を受けました。
・接岸中のコンテナ船を入港させたパイロットに本船の説明を受けました。
- 12：10 飛島コンテナヤード出発
- 12：20 名古屋港フェリーターミナルに到着。
バスを下車し、新造フェリー「いしかり」に乗船
船内で昼食。
- 12：30 これが大人気でした。子供達大喜びです。
これが大人気でした。子供達大喜びです。
- 13：30 スケジュールに沿い、
・「いしかり」の進水式の様子をビデオで観賞。
更に、船や海のことについて説明を受けました。
・その後、4グループに分かれ船橋・客室など船内見学をしました。
- 15：20 バスに乗車、鳥羽に向け出発
高速道路経由。途中安濃SAにてトイレ休憩
バス車内で、「にっぽん丸の船旅」「海の上のプロフェッショナル」のビデオを観賞。
- 17：20 鳥羽商船高専到着
「故郷の海を愛する会」の会長代行の挨拶。
鳥羽商船高専の伊藤副校長の挨拶。
全員無事で終えられた事、感謝。
- 17：30 子どもたち解散
- 18：30 子どもたち全員が帰った事を確認、主催者解散。

参加募集70名でしたが、応募締め切り前に募集数を早々と突破し、最終的には86名の応募がありました。バスの席にも余裕があったのと、せっかく応募してくれた子ども達全員に参加してもらいたくて応募者全員の参加となりました。

全員集合時間前に集合しました。

その後、鳥羽からバス2台に分乗し、高速道路経由で名古屋港に向かいました。

バスの車中では「にっぽん丸の船旅」「コンテナ」をビデオ観賞しました。

高速道路で名古屋港が近付くと車窓からいろんな船を見る事が出来ました。コンテナ船、自動車専用船、フェリーボート、ばら積み貨物船などなど。

飛島コンテナ埠頭では広い敷地内をしっかりと動き回る無人のコンテナ搬送車、コンテナを釣り上げるガントリークレーン等に子供達はびっくりしていました。

それらを遠隔で操作するオペレーションルームを見学した際は一番わくわくしていたようです。コンテナヤードに接岸中の大型コンテナ船を岸壁から見た際にはその大きさに又々びっくりしていました。当初の計画ではバスの車中からコンテナ船の見学でしたが、本船の荷役が終了していたので、バスを下車し、岸壁から本船を直接見る事が出来たのは幸運でした。

太平洋フェリーの新造大型フェリー「いしかり」は就航したばかりの新鋭フェリーです。

その船の広い食堂で先ず昼食です。美味しいカレーライスやデザート、飲み物を頂きました。おいしくしてお代わりをする子供達が続出です。

その後、「いしかり」の進水式の様子をビデオで観賞し、船や海の話聞きました。

客室、ラウンジ、船橋なども見学させてもらいました。きれいな客室、広々としたお風呂にびっくりです。

帰りのバスでは「にっぽん丸の船旅」「海の上のプロフェッショナル」のビデオを観賞しました。往きのバスでは未だお互いに馴染んでいなかった子供達も帰りのバスでは和やかに話が弾んでいたようです。

おかげさまで予定どおり、無事鳥羽商船高専に到着し、解散となりました。

暑い夏の日でしたが、子供達全員が元気にこの活動を終えられた事を感謝しました。

後日、参加した子供たちに集合写真・グループ別写真などを郵送しました。

併せて活動記録も送付し、保護者に子供達が何をしたのか理解して頂くように努めました。

活動記録写真



全員遅刻せず集合しました。



飛島コナチヤードが見えてきました。



屋上からヤードの説明を受けました。



パイロットさんの説明を受けました。



コンテナヤードの説明を受けました。



しっかり聞いています。



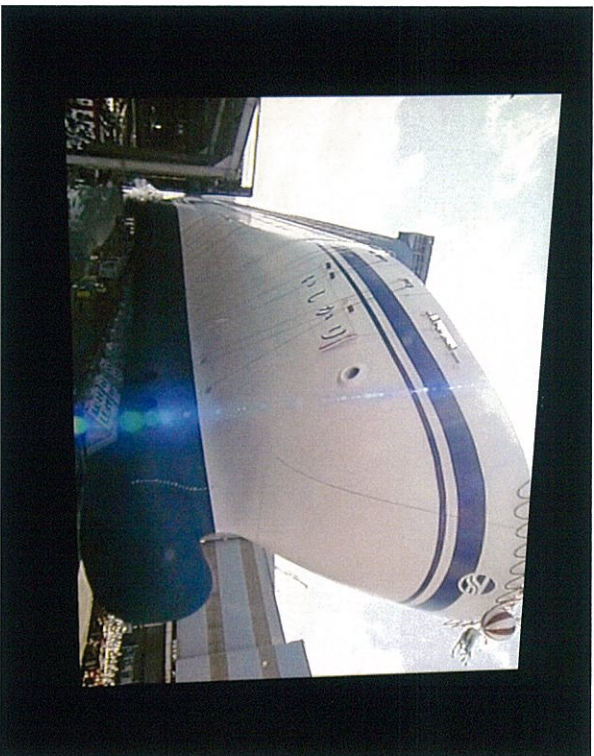
フェリーが見えて
きました。



船内でおいしい昼
食です。



船や海の話聞き
ました。



「いしかり」の進水式の様子です。



船内案内してもらいました。



船橋（船を操船するところ）も見学



上はコンテナヤードでの集合写真。



左は「いしかり」での集合写真です。バスー号車乗車組。

下の写真はバス二号車乗車組。



3. 「故郷の海を愛する会」の活動報告

③ 商船学校の歴史・船と海の話

(11月13日計画→12月17日 実施)

今回も海学祭に合わせて③回目の活動を計画しましたが、鳥羽商船同窓会支部長会と重なった事、一般客が多数来られ会場が混雑し、スムーズな活動が困難になる恐れがある事等の理由で、12月中旬の実施に変更しました。過去の2年間は海学祭に合わせて予定していましたが、インフルエンザ、台風接近等で計画通り実施出来ず、12月下旬の実施となりました。

参加者の募集

募集の範囲は①、②の活動と同様として、その案内は各学校に募集ポスターを配布するとともに、①と②の活動に参加した子供達に直接活動募集の案内をしました。

参加者

3回目の募集人員は50名のところ応募者は49名でしたが、風邪をひいたりして参加出来なかった子供が2名いて47名の参加となりました。

小学生33名、中学生14名。男子36名、女子11名でした。

伊勢市6名、鳥羽市24名、志摩市11名、玉城町6名でした。

鳥羽市からの参加者が多く、松阪市、明和町、南伊勢町から参加者はありませんでした。

主催者関係

「故郷の海を愛する会」の役員9名、鳥羽商船同窓生3名、一般ボランティア5名、合計17名が参加しました。一般ボランティアは参加した小中学生の保護者等です。

加えて、この活動に鳥羽商船高等専門学校から藤田学校長以下多くの職員・生徒の協力を得ました。

性別	所属	担当	班名
男	主催者	会長	
男	主催者	副会長	
男	主催者	理事	
男	主催者	副総括	
男	主催者	理事	B
男	主催者	理事	B
男	主催者	理事	A

男	主催者	理事	班担当	C
男	主催者	相談役	班担当	C
男	主催者	理事	班担当	D
男	主催者	理事	班担当	D
男	ボランテニア	商船同窓会	講師	
男	ボランテニア	商船同窓会	講師・班担当	A
女	ボランテニア	保護者	昼食準備等	
女	ボランテニア	保護者	昼食準備等	
女	ボランテニア	保護者	昼食準備等	
女	ボランテニア	保護者	昼食準備等	
男	事務局		受付・記録	

当日の活動記録

- 8：30 役員・ボランテニア集合（役割等の説明）
- 9：15 受付開始（鳥羽商船高等専門学校、百周年記念館にて）
受付後、子供達はワルチメディア教室に移動。
- 10：00 全員集合。三井会長代行挨拶。
- 10：15 「客船の競争」 講師 元客船日本丸機関長 長谷川真佐雄氏
- 10：50 「キネクトでスーパースイヤー人になろう」 講師 商船学校准教授 江崎修央氏
- 11：30 潮騒会館に移動。
昼食。 ビンゴゲームでクリスマスプレゼント。
- 12：45 近藤真琴記念碑前で集合写真撮影。その後、ワルチメディア教室に移動。
- 13：00 「災害派遣体験談」 講師 鳥羽海上保安部警護救難課 安田伸也氏
- 13：40 4班に分かれ以下の体験。
1. 携帯電話で植物とコミュニケーションをとろう。
2. ヒューマノイドロボットを動かそう。
3. 内燃機関室でディーゼルエンジンを動かそう
4. 操船シミュレータ室で巨大船を操船しよう
最後に全員が揃って百周年記念館を見学
- 15：25 ワルチメディア室で子供達はアンケート提出。
藤田鳥羽商船高等専門学校長ごあいさつ。
- 15：30 予定終了、子供達解散。
- 16：00 役員・ボランテニア解散

午前。

「客船の競争」は同窓生である元客船日本丸の機関長であった長谷川氏の講演で、100年ほど前の大西洋での客船のスピード競争などの話をして頂きました。

その頃の客船は船員が石炭を焚いて蒸気を作りエンジンを動かしていたんですよ。

「キネクトでスーパーサイヤ人になろう」は同様に同窓生である鳥羽商船高等専門学校の准教授の江崎氏の講演で、キネクトを用いた遊びなどの話をして頂きました。

主催者のおじさん達にはキネクト？スーパーサイヤ人？でしたが、子供達にはとても興味を引くテーマであったようです。

昼食の後、子供達全員が参加してビンゴゲームを楽しみ、ちょっと早いクリスマスプレゼントを獲得しました。

午後の講義開始前には近藤真琴記念碑前で集合写真を撮りました。

午後。

「鳥羽海上保安部の災害派遣体験談」は昨年の東日本大震災の際に災害派遣体験をされた鳥羽海上保安部警備救難課の安田氏の講演でした。体験談と共に、その経験をもとに「津波警報」が出された場合の行動についてのアドバイスをして頂きました。

- ・常日頃から津波警報が出された場合に備え避難経路を確認しておく事。
 - ・自分で判断して直ぐ高い所に逃げる事。
- 子供たちも熱心に聞き入っていました。忘れないでいて欲しいですね。

その後、4班に分かれ体験学習です。

「内燃機関室でダイゼルエンジンを動かそう」

「操船シミュレータ室で巨大船を操船しよう」

内燃機関室では大きいエンジンで自分達で起動しました。その時の大きな音に耳をふさぐ子供達、でも楽しそうでした。

操船シミュレータ室では大型船の操舵室にいる感覚で、操船を自分達でしました。

これらの体験が彼らの記憶にしっかり残った事と思います。

「携帯電話で植物とコミュニケーションをとろう」

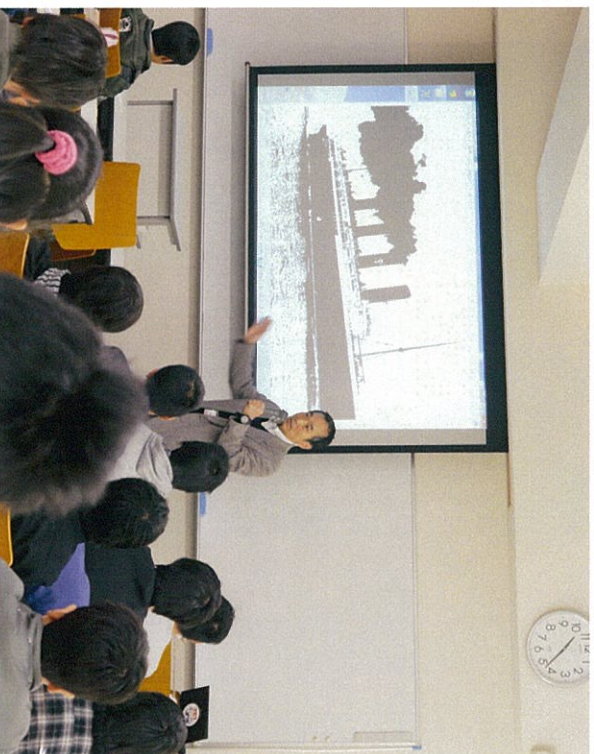
鉢植え植物の健康状態が携帯電話でわかるのが不思議であり、おもしろそうでした。

「ヒューマンイドロボットを動かそう」

人間の形をしたロボットの操縦し、ロボットにボールを蹴らせ、ボレーイングの様にピンを倒す遊びをしました。ロボットがボールをうまく蹴り、多くのピンを倒したら歓声が上がりました。

その後、全員が記念館の資料室を見学し、鳥羽商船高等専門学校の校祖である「近藤真琴」を学び、展示されている機関模型などの資料を見学しました。

活動記録写真



客船の競争
講師 長谷川氏
黒い煙は石炭を焚
いていたからだよ。



キネクトでスーパ
ーサイヤ人になろ
う
講師 江崎氏
入射角と反射角に
よる距離計算
わかる？



昼食後のピンコゲ
ーム
良いクリスマスプ
レゼントになった
かな——